

2013年4月18日

福島県知事
佐藤 雄平 様

日本共産党福島県委員会
委員長 久保田 仁
日本共産党福島県議会議員団
団長 神山 悦子
宮川えみ子
阿部裕美子
長谷部 淳
宮本しづえ

「主権回復の日」式典への県知事の出席中止を求める申し入れ

安倍内閣は、サンフランシスコ講和条約が発効した4月28日に、政府主催で「主権回復の日」式典を開催することを決定しました。しかし、1952年4月28日に発効したこの条約によって日本は形式的には独立国となったものの、同日発行した日米安保条約によって、実質的にはアメリカへの従属国の地位に縛り付けられたというのが歴史の真実です。この日に「式典」をおこなうことは、今日に続く対米従属という国民的屈辱の出発点、千島列島を放棄し沖縄を本土から切り離れた屈辱の日を「祝う」ことにほかなりません。

さらに「4月28日を主権回復記念日にする議員連盟」の設立趣意書には、主権回復の際、「自主憲法の制定と国防軍の創設」は「最優先手順であった」と明記されており、現在の改憲策動とまさに一体です。

福島県民の中にも、「主権回復の日」式典の中止を求める声があがっています。よって以下の点を求めます。

記

- 1、県知事は、政府に対して式典の中止を求めるとともに、代理であっても式典への出席を取りやめること。

以上